

（仮称）第4回「奈良大立山まつり」の開催

最も観光客が少なくなる冬季の宿泊観光客の増加を図るとともに、県内市町村の魅力を全国にPRし地域への誘客を図るため、（仮称）第4回「奈良大立山まつり」を実施。

実施体制や実施内容を大幅に見直し、**民間の企画・立案力を活かした新たなイベントとして開催。**

平成30年3月に開園した**朱雀門ひろばの機能を活かしながら、メインとなる新たなコンテンツを実施する**とともに、従前の『**地域の伝統行事の披露**』や『**地域の特産品（あったかもん等）の販売**』なども実施し、奈良県の新たな冬の賑わいの創出を図る。

1. 実施体制

会長：奈良県知事 → 委員の互選
副会長：1名 → 2名

～**㊹行政主導**→**㊺民間主導**

2. スケジュール

平成31年1月26日（土）～1月27日（日）

- ・26日（土）11：00～19：00 ※若草山山焼き開催予定
- ・27日（日）11：00～18：00 ※会場の一部として活用する
平城宮いざない館の閉館時刻＝18:00

開催期間・時間の変更

㊹3日間→**㊺2日間**

㊹16時/13時～20時→**㊺11時～19時/18時**

3. 開催場所

平城宮跡朱雀門ひろば

指定管理者と連携し、平成30年3月に新たに開園した朱雀門ひろばの施設を最大限活用する。



㊹朝堂院周辺→**㊺朱雀門ひろば**

4. 事業内容

- ・民間の方の発想によるメインとなる新規コンテンツ
- ・各市町村の伝統行事の披露
- ・あったかもんなどの地域の特産品の販売
- ・朱雀門と一体感のある「大立山」の活用

県予算額

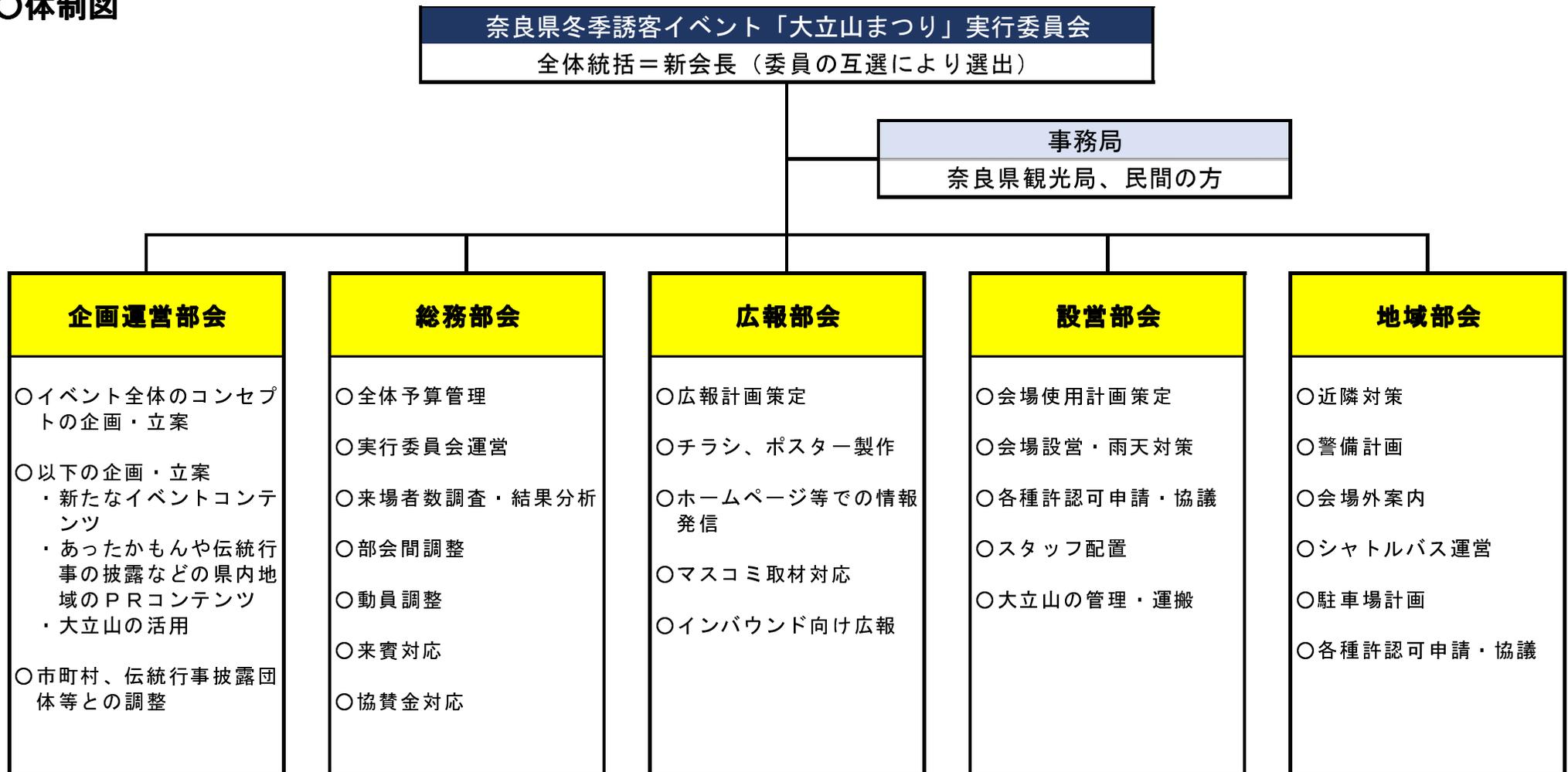
㊹120百万円→**㊺80百万円**

5. 平成30年度の実行委員会の組織体制

○変更点

- ・民間より新たに委員を委嘱
海龍王寺石川重元住職、合同会社ほうせき箱 平井宗助氏
- ・会則の改正（会長職の選出方法の変更、副会長職数の変更）
会長：「奈良県知事をもって充てる」 → 「委員の互選」
副会長：「1名」 → 「2名」
- ・各部会及び事務局に、行政職員だけではなく、民間の方々に入っただく。

○体制図



6. レイアウト (案)

- ・ 伝統行事の披露ステージと飲食スペースの一体感のあるレイアウトを前年度に引き続き継続。
- ・ 冬季イベントの支障であった休憩スペース・低温対策を充実。
- ・ 民間による企画立案のもと、民間主導で様々なコンテンツを実施。
- ・ 大宮通りから視認できる朱雀門と大立山の一体的な展示。(舗装地面の関係上、巡行は実施しない)
- ・ 開館時間の延長、トイレ、施設内での企画など、管理者と連携し、既存施設を最大限活用。

(平城宮跡)



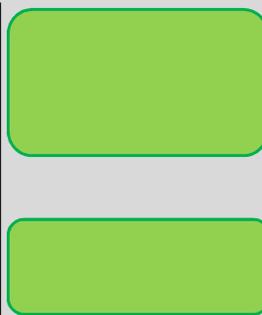
(イメージ)



飲食・物販等

伝統行事等の披露

飲食・物販等



飲食・物販等

飲食・物販等



遣唐使船



(朱雀門ひろば全景)

